

さなごうち大川原高原ヒルクライム2025

実施要項(案)



佐那河内村

さなごうち大川原高原ヒルクライム実行委員会



この大会はスポーツ振興くじ助成を受けています。

さなごうち大川原高原ヒルクライム 2025

○佐那河内村とは

徳島県佐那河内村は、徳島市の西隣に位置し、周囲を山々に囲まれた農村風景を残す県内唯一の村です。また、吉野川水系の2つの川（園瀬川と嵯峨川）の流れに沿って多くの集落が形成されています。

基幹産業は農業であり、スダチやミカンなどの柑橘類や棚田米、「とくしま特選ブランド」に認定されている「さくらももいちご」や「達磨キウイ」など、多様な農作物が生産され、爽やかな風が吹く谷あいの里です。

○大川原高原とは

佐那河内村を代表する観光スポットとして、大川原高原があります。徳島市内から車でおよそ1時間の場所です。高原には約3万本の紫陽花が植えられ、7月上旬からの1ヶ月間は、県内外から多くの観光客が訪れます。また、高原からみる360度のパノラマは、晴れた日には紀伊半島まで見渡すことができ、夜の星空は手が届きそうなほど輝いて見えます。

眺望以外にも、尾根に沿って立ち並ぶ風車や放牧されている牛、周囲に広がる自然を身近に感じることができます。

○大川原高原とヒルクライム

最近では、大川原高原の魅力の一つに、年間500人を超えるローディー（ロードバイクに乗る人たちのこと）が、己の限界に挑戦するため、はるか頂にそびえる風車を目指しています。

ヒルクライムの魅力は、山を登り切ったときの達成感と爽快感にあります。

「もう離脱してしまおうか？」と考えることもあるかもしれません。それでも自分と戦い、こぎ続け、目的地に到着した時の満足感は、ヒルクライム独特の味わいです。

しかし、村民を含めほとんどの人は、この大川原高原が西日本が誇る有数のヒルクライムのコースであることを知りません。

○さなごうち大川原高原ヒルクライム 2025 とは

「さなごうち大川原高原ヒルクライム Sanagochi Okawara-kogen Hill Climb (SOHC)」は、競技用自転車（ロードバイク等）を用いて、大川原高原までの道の走破時間を競う自転車レースのことです。自転車を用いた競技であるため、カーボンニュートラルなイベントです。

今回は、第2回大会としての開催で、自転車競技の参加者だけの大会ではなく、地域も巻き込んだイベントとなるよう、人と人との交流を深め、そのことによって地域の特産品の価値を正しく伝え、地域内外の人と経済が循環することを目的に企画したものです。

さらに、前回大会のご意見を踏まえステージイベントや YouTube でのライブ配信などを考えています。

佐那河内村の豊かな自然のPR並びに大川原高原の景観整備及び保全、地域産業の活性化、交流人口の拡大を図るとともに、大会を通じて自転車マナーの向上啓発、ジュニア層の育成・体力向上及び大会参加者の健康増進を図ることを目的とし、今後も継続可能で皆さんに愛される大会となるよう今大会を開催します。

さなごうち大川原高原ヒルクライム2025実施要項

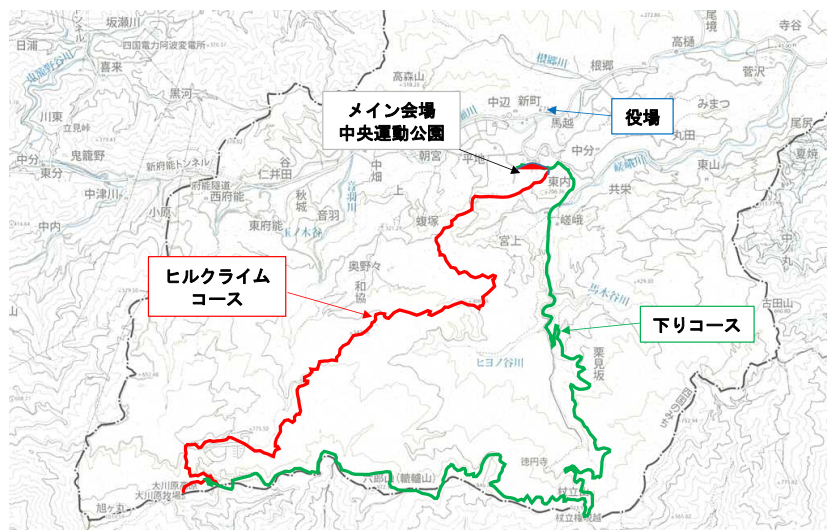
名 称 さなごうち大川原高原ヒルクライム2025

開 催 日 令和7年11月16日（日） 小雨決行
（ただし悪天候などにより、大会が予定どおり開催できない場合、主催者の判断で大会内容を変更または中止することがあります。）

主 催 佐那河内村
さなごうち大川原高原ヒルクライム実行委員会
佐那河内村公民館、さなごうちスポーツ推進委員、さなごうちスポーツクラブ、健祥会ハイジ、J A徳島市佐那河内支所、(株)大川原ウインドファーム、ケーブルテレビ徳島(株)、佐那河内農業振興協議会、佐那河内村老人クラブ連合会、佐那河内村婦人会、佐那河内村生活グループ協議会、健康づくりの会、佐那河内村消費者協会、佐那河内商工共栄会、佐那河内村建設業協会、フレッセ佐那河内支部、しゃくなげ市、一般財団法人さなごうち、大川原あじさい市、佐那河内村消防団、徳島県自転車競技連盟、徳島県観光スポーツ文化部にぎわい政策課

ゲ ス ト 森本 誠 選手 ((株)近藤機械製作所 GOKISO 所属)
白川幸希 選手 (ヴィクトワール広島 所属)
宮崎泰史 選手 (KINAN Racing Team 所属)

コ ー ス ヒルクライム スタート 上字南浦 12 番地 1 外
フィニッシュ 上字大川原 5 番地 2
全長 10.22 km 標高差 746 m
平均斜度 7.8% 最大勾配 19%
往路(上り)のみのタイムレース



スタート位置図



フィニッシュ位置図



主 会 場 佐那河内村中央運動公園
(徳島県名東郡佐那河内村上字南浦 12 番地 1 外)



スケジュール	9 : 0 0	開場・受付開始 ※受付は 1 1 時まで済ませてください。
	1 1 : 0 0	開会式 ・実行委員長あいさつ ・来賓あいさつ ・競技上の注意 ・ゲスト紹介
	1 1 : 4 5	スタート地点へ移動（交通規制開始 1 1 : 3 0）
	1 2 : 0 0	スタート（1 0 秒ごと） ・競技開始
	1 3 : 0 0	ステージイベント（詳細は 1 8 ページ）
	1 6 : 0 0	表彰式 ・表彰セレモニー ・ゲスト講評
	1 6 : 3 0	閉会式 ・実行委員長お礼の言葉
	1 7 : 0 0	解散

※スケジュールは予定です。レース状況により多少変動します。

- 競技方法
- ・レースはタイムトライアル方式で行います。
 - ・スタートは 1 2 : 0 0 に一番目の競技者がスタートし、1 0 秒間隔で一人ずつスタートします。タイム計測はゴール地点にて、スタート時間とフィニッシュ時間差の集計によりカテゴリー別順位を競います。フィニッシュライン入線順位が着順ではありません。
 - ・スタート時間は厳守です。スタート時間にスタート地点にいない場合は失格（D N S）となります。
 - ・制限時間を設けています。フィニッシュへ 1 時間 4 5 分以内で到着できない場合は失格（D N F）となり、競技を中止していただきます。

競技カテゴリー

- Category-A 男子 1 6 ～ 2 9 歳
 - Category-B 男子 3 0 ～ 3 9 歳
 - Category-C 男子 4 0 ～ 4 9 歳
 - Category-D 年齢不問で体重 8 5 k g 以上
 - Category-E 男子 5 0 ～ 5 9 歳
 - Category-F 女子
 - Category-G 男子 6 0 歳以上
 - Category-H 年齢不問で e-bike で出場するもの
- ※各 Category の申込人数により変動する場合があります。

表彰 各カテゴリー 1 位から 3 位までに表彰状が贈られます。
また、各カテゴリーの優勝者には優勝者ジャージを、グランドチャンピオンにもジャージが贈られます。
ただし、Category-H についてはグランドチャンピオンに編入されません。

募集人員 350 人（先着順）

参加費 8,500 円

参加資格

- ・ 高校生以上の健康な男女で完走できる走力を有する者。
ただし、18 歳未満の参加は保護者の同意を必要とする。
- ・ 交通規則・公衆マナーを遵守できる者。
- ・ 開催要項及び実施要項の内容を了承した者。

大会規則

- 1 自己のペースを守り、安全第一を心がけて走行してください。
また、走行中は急ブレーキなどの不測の事態による事故を避けるため、前方の自転車に十分注意して走行してください。
- 2 ヘルメット（レザー製、布製は禁止）及びグローブの着用を義務づけます。
- 3 本大会では、参加者に対してイベント傷害保険に加入します。

死亡	300 万円
後遺障害・重度後遺障害	程度に応じて支払い
入院・通院 5 日以上	部位・症状別に支払い
通院 5 日以内	6,000 円

なお、レース中に限らず大会当日の自転車（フレーム・パーツ）の破損・紛失・盗難等は保険対象外です。補償内容に不安がある人は、各自で保険に加入されるようお願いします。

自転車規定

○（Category-A~G）

- ・ 人力のみで駆動するフリーホイール式ロードレーサー及び競技用自転車とします。
 - 1) ブレーキは最低 2 つとりついており十分作動し、競技上危険となる泥よけ、キャリア、スタンド、カゴ、ミラー等の部品は取り外しし、危険な突起物のないものとします。
 - 2) スピナッチ、ティラミス等のエクステンションバー、デルタ、ブルホーン、トライアスリート用ハンドル等は使用できません。
- ・ ヘルメット及び手袋の着用は義務づけています。自転車走行

中は、大会前後大会中を問わず、ヘルメット及び手袋を着用してください。着用がない場合は大会に参加できません。

○ (Category-H)

e - b i k e は、電気モーターでペダリングをアシストする二輪車（搭乗者がペダルを漕がないと走らないもの）で、日本の道路交通法に基づいた国内流通品とします。

1) ブレーキは最低2つとりついており十分作動し、競技上危険となる泥よけ、キャリア、スタンド、カゴ、ミラー等の部品は取り外しし、危険な突起物のないものとします。

2) スピナッチ、ティラミス等のエクステンションバー、デルタ、ブルホーン、トライアスリート用ハンドル等は使用できません。

- ・ヘルメット及び手袋の着用は義務づけています。自転車走行中は、大会前後大会中を問わず、ヘルメット及び手袋を着用してください。着用がない場合は大会に参加できません。



駐車場について

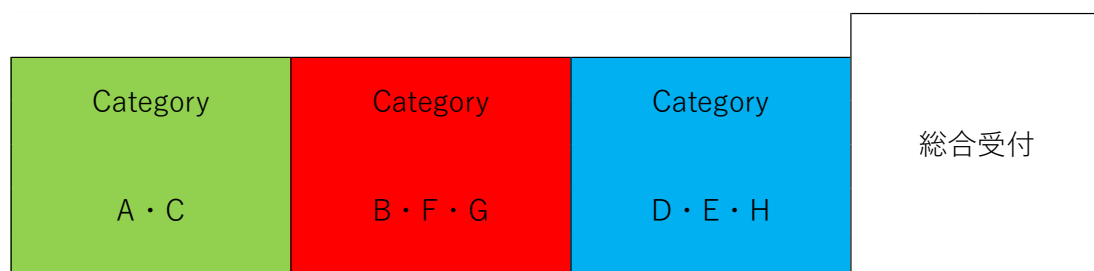
- ・ 駐車場は、中央運動公園に入って南側が一般駐車場で、北側は関係者駐車場になります。(第2駐車場については佐那河内村役場正面玄関前駐車場となります。)
- ・ 交通整理員の指示に従い順番に止めてください。
- ・ 会場内は一方通行になります。逆走はできません。
- ・ 駐車場で起こった事故等について (第2駐車場 QR)



駐輪について

- ・ バイクラックを置きますが、受付時用です。受付終了後は、すみやかに替わってください。

受付方法



- ・上図のようにカテゴリー別で受付を行います。
- ・受付は午前9時より開始します。開会式前に必ず受付を済ませておいてください。

○受付方法は次のとおりです。

- ①本人確認（カテゴリーごとのテント）
- ②ゼッケン、計測タグ、参加記念品等の受け取り
（カテゴリーごとのテント）
- ③フィニッシュ地点への荷物を預ける（総合受付テント）

①本人確認

- ・受付では、問診票をスタッフに渡し、スポーツエントリーでの入金完了メールや申込完了画面を提示いただくか、それらをプリントアウトしたもので本人確認を行います。必ず持参してください。

※入金完了メールや申込完了画面を忘れた場合は総合受付で確認させていただきます。直筆で同意書を書いていただき、名簿と照合し、本人確認がとれましたら、受付させていただきます。

②ゼッケン、計測タグ、参加記念品等の受け取り

- ・受付で確認が取れましたら、参加記念品（記念品や実施要項等が入ったバッグ）とゼッケン、計測タグを受け取っていただき、受付完了です。
- ・スタートするまでにゼッケン、計測タグを指定の場所に取り付けてください。なお、この計測タグはフィニッシュ地点で回収します。紛失した場合等により返却がない場合は7,000円を負担していただきます。
- ・結束用具（タイラップ）を切断するためのニッパは、バイクラックにあります。
- ・ゼッケンは2種類あります。
- ・左脇腹付近に見えるように、はずれないように付けてください。
- ・ヘルメットシールは必ず前面に貼り付けてください。（フィニッシュ地点で、識別を目的とした写真撮影のためですので、ご協力ください。）
- ・計測タグは、フロントフォークに結束用具（タイラップ）で取

り付けます。ご自分のお名前を確認してから取り付けてください。

- ・計測タグをステムに巻き付けたり、時計のように腕に巻き付けたりする人がいますが、正しい位置でなければセンサーは反応しません。
- ・計測タグを装着せずに出走した場合は、計測できませんのでご注意ください。

③フィニッシュ地点への荷物を預ける

- ・フィニッシュ地点への預り荷物は、総合受付で預かります。
- ・総合受付でシールの名前を確認し、スタッフにシールを預かり用のビニール袋に貼ってもらい、そのビニール袋を受け取り、荷物を入れた後、スタッフに返してください。
- ・カテゴリーごと、色別で荷物を預かりますので、フィニッシュ後の受け取り時に参考にしてください。
- ・スマートフォン、財布などの貴重品は預けないでください。破損紛失等した場合でも、主催者は一切の責任を負いません。

更衣室について

- ・更衣室は、主会場の中央運動公園管理棟内にあります。1階が女性用で2階が男性用です。
- ・フィニッシュ地点の大川原高原では、ヒルトップハウス内にあります。2階大会議室は男性用で外階段から入ります。2階小会議室は女性用で正面入口から入ります。
- ・中央運動公園管理棟もヒルトップハウスも全員が同時に着替えることができるほど広くありません。時間に余裕を持って着替えてください。
- ・貴重品のお預かりはしていません。貴重品の管理は各自で行ってください。
- ・更衣室におけるトラブル、事故やけが、盗難、紛失等について、主催者は一切の責任を負いません。

ウォームアップについて

- ・コース内及び周辺道路でのウォームアップ走行は禁止させていただきます。なお、ウォームアップについては午前9時から午前11時30分まで、会場西側の坂道を解放しますので必要な人はご利用ください。

応援について

- ・応援場所は2箇所を予定してます。
- ・場所は、大川原高原高原広場と観光農園管理棟への三叉路の2箇所です。
- ・午前11時30分に交通規制がかかりますので、余裕を持って現場に到着してください。（午前11時までに到着するのが望ましい。）
- ・応援時、コース内に出ることはできません。
- ・応援場所からの移動は、交通規制が解除になってからです。それまでの間、移動はできません。
- ・中央運動公園から大川原高原高原広場まで車で約30分かかります。



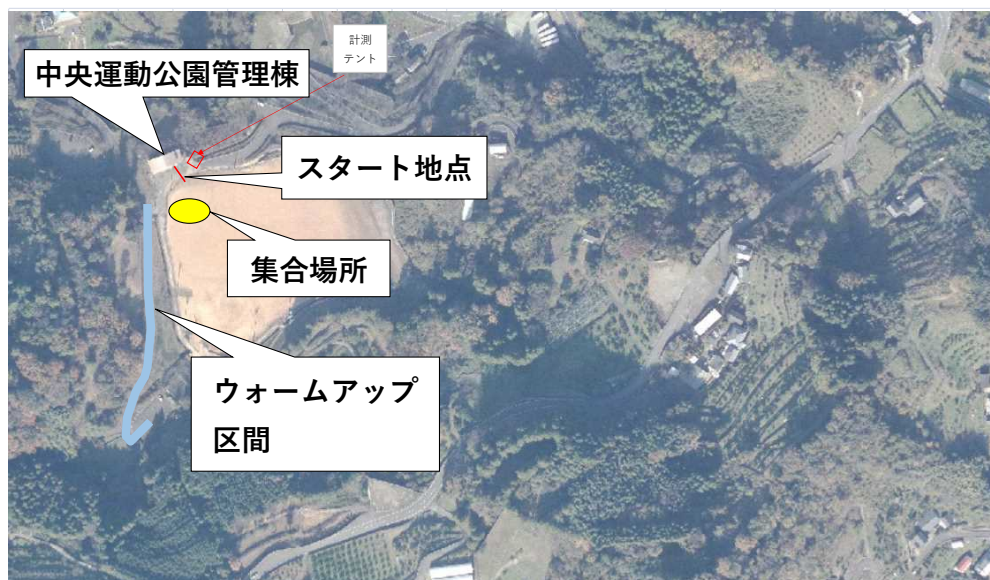
スタート地点への手順

- ・開会式終了後、中央運動公園管理棟前に出発順に集合していただき、ゼッケン番号ごとにスタート地点へ移動します。
なお、カテゴリーごとではA D F G H B E Cとなります。
- ・タイムスケジュールは次のとおりです。

タイムスケジュール（予定）

ゼッケン番号	集合時間	スタート予定
A 0 0 1 ～ A 0 1 0 D 0 1 1 ～ D 0 1 8 F 0 1 9 ～ F 0 2 0	1 1 : 4 5	1 2 : 0 0
F 0 2 1 ～ F 0 2 7 G 0 2 8 ～ G 0 4 0	1 1 : 4 9	1 2 : 0 4
G 0 4 1 ～ G 0 5 6 H 0 5 7 ～ H 0 6 0	1 1 : 5 3	1 2 : 0 8
B 0 6 1 ～ B 0 8 0	1 1 : 5 9	1 2 : 1 2
B 0 8 1 ～ B 0 8 2 E 0 8 3 ～ E 1 0 0	1 2 : 0 3	1 2 : 1 6
E 1 0 1 ～ E 1 2 0	1 2 : 0 7	1 2 : 2 0
E 1 2 1 ～ E 1 2 5 C 1 2 6 ～ C 1 4 0	1 2 : 1 1	1 2 : 2 4
C 1 4 1 ～ C 1 6 0	1 2 : 1 5	1 2 : 2 8
C 1 6 1 ～ C 1 7 1	1 2 : 1 9	1 2 : 3 2

※レースの進み具合により変わることがあります。



集合場所からの手順

- ・ 集合場所付近でスタッフが整列をお願いしますので、集合場所付近に到着したら整列してください。
- ・ 順番は、ゼッケン番号順になります。
- ・ 整列した人から自転車を押してスタートラインへ移動してください。
- ・ スタート地点到着後、順番が来たらスタート台へ入り、それ以外の人は待機していただきます。
- ・ スポーツタイマーの音を基準に、正午から順にスタートします。

集合場所での 整列順

①②③

④⑤⑥

⑦⑧⑨

⑩⑪⑫

⑬⑭⑮

⑯⑰⑱

⑲⑳㉑

・ ・ ・

・ ・ ・

↑
進
行
方
向

並んだ順に移動します。

スタートラインでの並び

12:00.00

①

スタート位置

12:00.10

②



12:00.20

③

12:00.30

④⑤⑥

12:01.00

⑦⑧⑨

12:02.00

⑩⑪⑫

12:02.30

⑬⑭⑮

⑯⑰⑱

・ ・ ・

・ ・ ・

- ※スタート直後に転倒し自身で再スタートできない場合や、メカニカルトラブルがおきて再スタートできない場合は、スタッフに声をかけていただき、後方からのスタートの邪魔にならない場所にいったん移動してから処置を行ってください。
- ※スタート台前でのチェーン落ちやパンクによるメカニカルトラブルの場合はスタッフに声をかけていただき、いったん列を離れてそのカテゴリーの最終走者としてスタートしてもらいます。また、トラブルが自己解決しない場合は失格（DQ）とさせていただきます。
- ※カテゴリー最終走者にメカニカルトラブルが起こった場合は次のカテゴリーの最終走者としてします。

コース上について

- ・レース途中で棄権する場合、勝手に下ると上ってくる選手の妨げとなる場合がありますので、絶対に逆走せず、スタッフの指示があるまでその場で溜まってください。
- ・けが等をした場合、近くのスタッフが向かいますので、動かず安静にして待っててください。
- ・早めの危険回避行動を心がけてください。
- ・個人のスキルによって、スピードやレースの展開の感じ方は違います。ビギナーが危険と感じても、上級者にとっては快適と感じる場合もあります。
- ・自分がいる集団のリズムが「危ない」と感じたら、その集団からエスケープするか、集団にいてもマージンを取るなど、いつでも回避できるよう努めてください。

コース内及び周辺の美化にご協力ください。

- ・ゴミは、各自で持ち帰り、コース内及び周辺の美化にご協力ください。レース中のボトル等の投げ捨ても厳禁です。発見した場合は失格となります。



フィニッシュでの手順

- ・大川原高原高原広場前のフィニッシュラインを越えたら、警備員の指示に従い、アスファルトの上を走行してもらいます。
- ・フィニッシュ後、すぐ計測タグを回収します。スタッフがその場で計測タグを外しますのでお待ちください。
- ・その後、手荷物渡し場所で自分の手荷物を持って、スタッフに荷物の確認をしてもらってください。
- ・手荷物とゼッケンと名簿の確認ができた人から、休憩所で飲物等を受け取っていただき、大川原高原の雄大な自然をお楽しみください。

- ・クールダウンが終わった人からヒルトップハウスへ移動します。
- ・ヒルトップハウスでは、着替えもできます。2階大会議室は男性用で外階段から入ります。2階小会議室は女性用で正面入口から入ります。
- ・体調不良や握力の低下、メカニカルトラブル等がありましたら、近くのスタッフに声をかけてください。

※フィニッシュ後はフィニッシュ付近に溜まらず、速やかに移動してください。

※計測タグは、必ず返却してください。返却されなかった場合は、7,000円を負担していただきます。

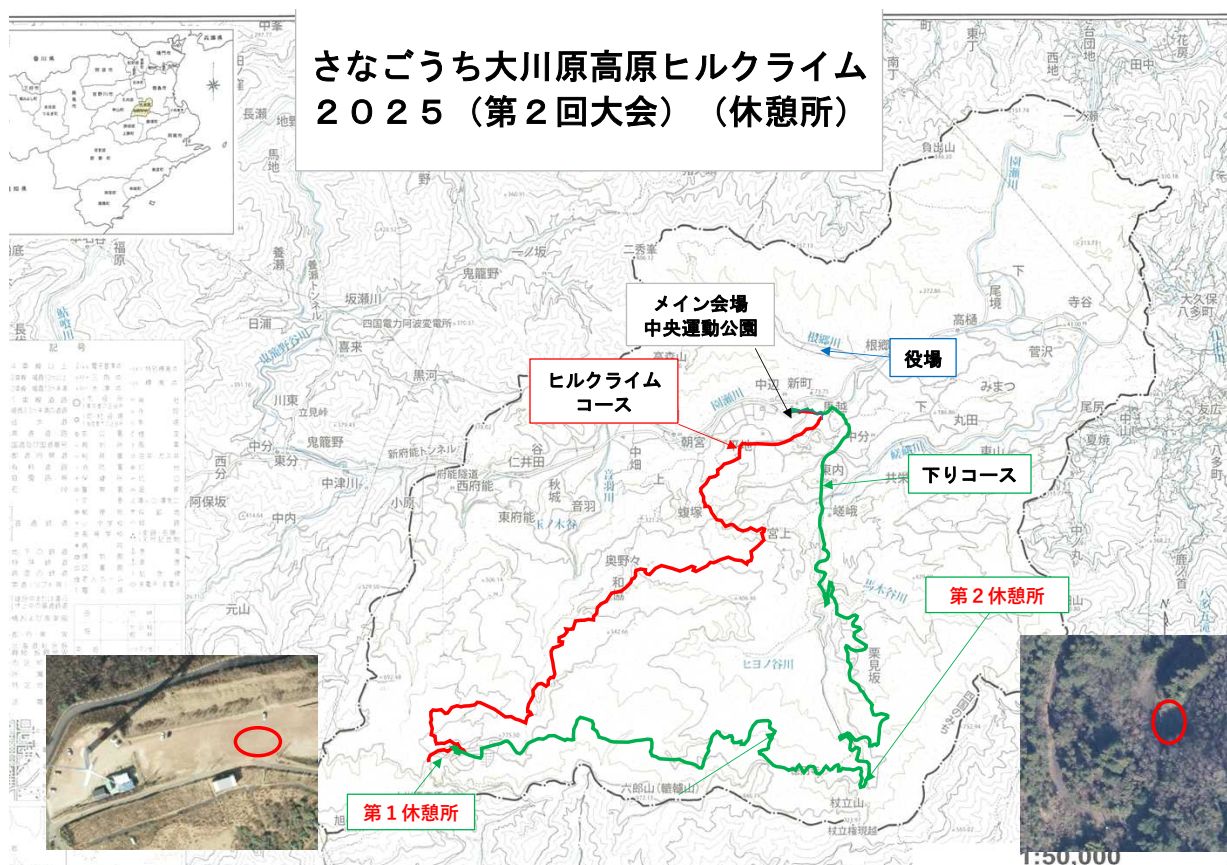


- 下山手順
- ・着替えやクールダウンが終わった人から下り集合場所に集まっています。10人から20人のグループを作ります。
 - ・ガイドライダー先導で主会場の中央運動公園まで下山します。
 - ・下りコースは道路規制がされていません。一般車両が進入してきますのでガイドライダーより前には絶対に出ないで、ガイドライダーの指示に従って下山してください。マナー違反者は失格とします。
 - ・下りコースでの追い越しは危険回避を除き禁止します。
 - ・特に、ヒルトップハウス下の上りと下りが重なる所では、1列で声を掛け合いながら下ってください。
 - ・下山コースはおよそ16kmあります。
 - ・下山コースは、ヒルクライムコースより狭く、傾斜もきつところがあり、路面も荒れたところがあります。必ずガイドライダーの指示に従い、安全に、スピードを落とし、声かけを行いながら下山してください。
 - ・体調不良や握力の低下、メカニカルトラブル等がありましたら、近くのスタッフかガイドライダーにご相談ください。



休憩場所

- ・休憩所は2箇所設けています。
- ・休憩所には、飲物等を用意しています。
- ・第1休憩所は、フィニッシュしてすぐにあります。
- ・第2休憩所は、フィニッシュから約7.8 kmの所にあります。
- ・仮設トイレについては、第2休憩所にあります。仮設トイレを2基設置し、休憩することができます。必要があれば利用してください。
- ・体調不良や握力の低下、メカニカルトラブル等がありましたら、近くのスタッフかガイドライダーにご相談ください。



トイレの位置について

- ・トイレについては、主会場の中央運動公園内、大川原高原高原広場内の公衆トイレ、ヒルトップハウス、ヒルトップハウス前の公衆トイレ、下りコースの第2休憩所の仮設トイレとなります。数が限られていますので、早めのご利用をお願いします。
- ・所定位置以外でのトイレは厳禁です。スタッフが巡回していますが、発見した場合には失格となります。

- 注意事項
- 1 標高が高いため、天候が変化しやすく、山麓と高地では状況が大きく異なることがあります。大会の開催可否を、当日の早朝に実行委員会で決定します。大会中止となった場合でも、参加料は返却できませんので、ご了承ください。
 - 2 自己都合による申込後の変更、キャンセルは受け付けません。また、過剰入金・重複入金の返金はいりません。
 - 3 大会開催中に主催者より競技続行に支障があると判断された場合、主催者の競技中止の指示に従ってください。また、その他、主催者の安全管理・大会運営上の指示に従ってください。
 - 4 大会開催中に傷病が発生した場合、応急手当を受けることに異議申し立ては行えません。また、その方法、経過等について、主催者の責任は問われません。
 - 5 大会開催中の事故、紛失、傷病等に関して、主催者が認めた場合を除き、主催者の責任は免除されます。
 - 6 大会開催中の事故、傷病等への補償は、主催者が加入した保険の範囲内で行われます。
 - 7 大会の映像・写真・記事・記録等（氏名・年齢・性別・肖像等の個人情報）の各種媒体への掲載権・使用权は主催者に属します。
 - 8 大会申込者の個人情報は、前項のとおり取り扱われます。
 - 9 本大会の特性・競技の危険性を十分に理解し、主催者の安全管理・救護体制に限界があることを認識した上で、自己の責任において安全・体調・装備の管理、保険への加入等を行い参加してください。また、基本的感染症対策の実施についてご協力をお願いします。
 - 10 レースのコース上で一部下り区間があります。カーブでのスピードの出し過ぎは大変危険ですので、特に減速指示看板がある場所では必ず注意減速してください。
 - 11 下山はスタッフの指示に従ってください。約10人から20人が1つのグループとなり、ガイドライダー先導でメイン会場まで帰ります。大川原高原からメイン会場までは交通規制がかかっていません。一般車両が進入してきますので、ガイドライダーより前には絶対に出ないで、スピードを落として下山してください。違反者は失格とします。
 - 12 スタートからの制限時間を設けています。フィニッシュ地点へ1時間45分以内で到着しない場合は失格（DNF）となり、競技を中止していただきます。
 - 13 完走証は、Web で対応します。サイトはLAPCLIPに表示されますので各自で対応してください。（下記にサイト URL）
(https://matrix-sports.jp/lap/result.php?evt=251116_sanagochi)



交通案内 京阪神方面より

神戸淡路鳴門自動車道→高松自動車道・鳴門 JCT →徳島自動車道・徳島 IC →国道 1 1 号・国道 5 5 号→国道 4 3 8 号→佐那河内村

【所要時間】（車で佐那河内村まで）

大阪より約 2 時間 3 0 分

神戸より約 2 時間

高松方面より

高松自動車道・鳴門 JCT →徳島自動車道・徳島 IC →国道 1 1 号・国道 5 5 号→国道 4 3 8 号→佐那河内村

【所要時間】（車で佐那河内村まで）

高松より約 1 時間 3 0 分

松山方面より

松山自動車道・川之江 JCT →徳島自動車道・徳島 IC →国道 1 1 号・国道 5 5 号→国道 4 3 8 号→佐那河内村

【所要時間】（車で佐那河内村まで）

松山より約 3 時間

高知方面より

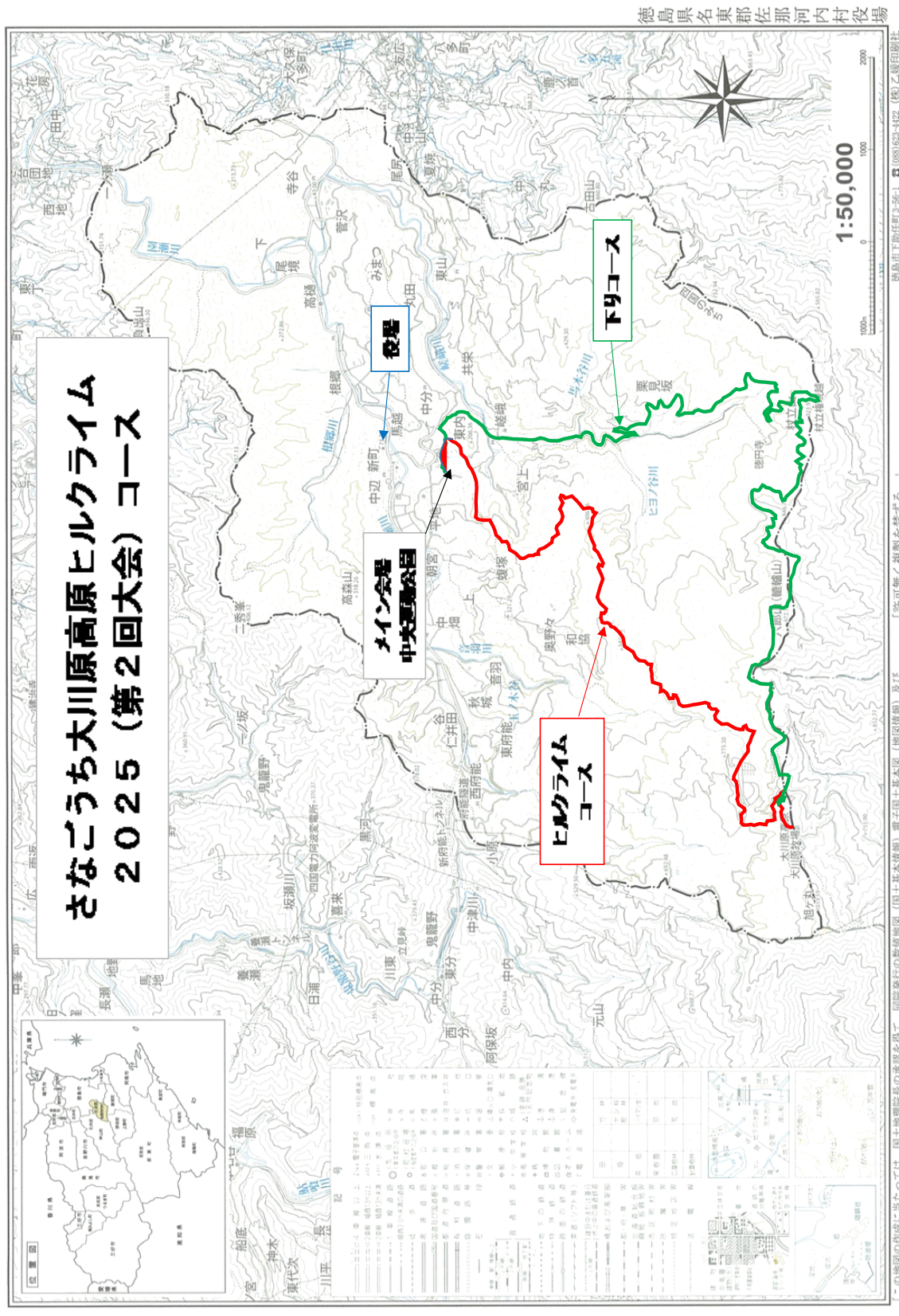
高知自動車道・川之江東 JCT →徳島自動車道・徳島 IC →国道 1 1 号・国道 5 5 号→国道 4 3 8 号→佐那河内村

【所要時間】（車で佐那河内村まで）

高知より約 2 時間 3 0 分







徳島県名東郡佐那河内村役場

徳島市下町3-5-1 ☎ 0876-23-4422 (株)乙姫印刷社

「許可無く複製を禁ずる。」

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平29情収、第487号)

W200×H150



A001～A010



B061～B082

W200×H150



E083～E125



C126～C171



D011～D018



G028～G056

W200×H150



F019～F027



25枚



ゲスト



H057～H060



ゲスト



ゲスト

W200×H150



無地13枚

パワータグの取り扱い

フロントホーク固定式計測タグ

個人種目の参加者には、パワータグセット(固定式計測タグ1コ、タイラップ2本)をお渡ししています。使用する自転車に装着して下さい。

パワータグセット

- パワータグ 1コ
- 結束用具 (タイラップ) 2本



タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、使用する自転車のフロントホーク(下図①の位置)に装着して下さい。左右どちらでも結構です。正しく装着されていないか、装着せずに出走された場合は、計測出来ませんのでご注意下さい。

※ご注意※

サイクルコンピュータのセンサーは、[計測タグを装着しているホークの反対側]のホークに取り付けて下さい。サイクルコンピュータのセンサーと計測タグの位置が近いと、どちらも動作しなくなる場合があります。



計測タグの取り外し方



タイラップはニッパなどで切って外して下さい。

※フロントホークを傷つけないよう注意して下さい。

取り付け方



- 1) パワータグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイラップを通します



- 2) フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます



- 3) しっかり固定するまでタイラップを引きタグがずれたり動いたりしないか確認します



- 4) 固定したら余分なタイラップを切り取ってください



- 5) 取り付け完了です

レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全てご返却下さい

今大会において協賛いただいた企業・団体は次の皆さまです。

協賛企業・団体

大川原ウインドファーム 様

金ちゃんヌードルでおなじみ！

徳島製粉株式会社 様

問い合わせ先



SANAGOCHISON

佐那河内村

〒771-4195

徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ 31 番地

佐那河内村役場 企画政策課内

さなごうち大川原高原ヒルクライム実行委員会事務局

電話 088-679-2973

(担当：松田・山本・後東)

専用HP <http://www.vill.sanagochi.lg.jp/docs/2025061000019/>

佐那河内村のHP <http://www.vill.sanagochi.lg.jp/>

Mail kikaku@sanagochi.i-tokushima.jp

令和7年11月5日現在